日本共産党
江東区議団ニュース
発行　日本共産党江東区議団
江東区東陽4－11－28　江東区議会内
TEL 3647－3651
FAX 3640－5222
http://www.jcp-kotokugidan.gr.jp

ためこんだ税金830億円を活用して くらしと営業を守る区政に!!

江東区議会第一回定例会(2月19日～3月28日)における活動を報告します

大つきかおり議員の本会議質問

大つきかおり議員

国保料・後期高齢者医療保険料の引き上げ中止を

江東区は、4月から国民健康保険料を一人当たり4638円もの大幅値上げを行います。

大つき議員は、区民からは「これ以上の負担増は耐えられない」と悲鳴の声があがっていると指摘。一般財源からの繰り入れや国庫負担の増額で保険料値上げを行わないよう求めました。

また、後期高齢者医療保険料も4月から一人当たり平均4118円の負担増が行われることについて、更なる基金の活用と東京都への財政支援を求め、保険料の負担を軽減するよう求めました。

安倍「教育再生」は「戦争する国」の人づくり

安倍政権が、「教育再生」の名のもとに、教科書検定基準の見直しや道徳の「教科」化で、「愛国心教育」を進め、教育委員会制度の見直しで、教育への政治支配を一層進めようとしていることについて、「戦争する国」を支える教育をつくるものに他ならないと指摘。教育の改悪中止を政府に求めるよう質しました。

また、一人一人の子どもに目が行き届く教育を実現するため少人数学級の拡充を政府に求めることや就学援助の拡充など教育費の負担軽減を行うよう求めました。

大つき議員は、安倍政権による消費税増税や社会保障の改悪、雇用の破壊で区民生活が一層厳しくなるのに、区の予算案には、区民のくらしを守るための新規施策が盛り込まれていないと指摘。消費税の増税や社会保障の改悪中止を政府に求めるとともに、身近な区政が区民の暮らしを守る防波堤の役割を果たすことが必要だとし、800億円を超すため込み基金を活用し、老人入院見舞金や重度介護手当の支給、特養老人ホームや認可保育園の増設、就学援助の拡充、店舗改修助成や商店街装飾灯電気代の全額補助などを行うよう求めました。

また人口増加に見合った職員の増員と民間委託の見直しを求めました。

介護保険からの「要支援」はずしは 認知症の早期発見・対応が遅れ、重症化をまねく!

正保みきお議員の本会議質問

正保みきお議員

正保議員は、介護保険制度の政府の見直し案が要支援者の訪問・通所介護を保険から外し、ボランティア等を活用する安上がりの区事業に移すことで、国の支出を抑制・削減する狙いだと批判。「早期発見・早期対応」の認知症ケアの原則に反し重度化を早め、要支援者の訪問・通所介護を保険から外す政府方針に3割を超える自治体が「不可能だ」との声を上げていると指摘し、国に対し意見をいうべきだとただしました。

北砂地区の不燃化事業は住民の立場で丁寧に

木造住宅密集地域である北砂3・4・5丁目地区の不燃化事業について、住民の立場に立って丁寧にすすめるとともに、居住者の移転先として区・都営住宅やUR住宅の優先的あっせん、住み替え費用の助成、商店街の店舗併用住宅の不燃化建替え中の仮店舗への家賃助成、小規模公園用地の確保などを具体的に提案。区は、「きめ細かく丁寧にすすめていく」と答弁しました。

いま必要な命綱―景気対策低利融資を打ち切らず継続を!

多くの中小業者が利用している景気対策融資(区民負担0・2%)を3月末で打ち切ることについて、正保議員は、「中小業者にとって、いま必要な命綱だ」と継続を迫りました。区は、「小規模企業は未だ景気回復を十分に実感できない状況にある」といいながら、「景気低迷期の緊急的融資なので終了する」と拒否。小規模企業特別融資(同1・4%)の金利は引き下げると約束しました。

区政短信

東陽町では、マンション建設によって小・中学校が日陰となるため、PTA代表から区議会に陳情書が提出され、審議中だ▼きくち幸江議員(共産)は、「保護者らが教育環境守れと立ち上がっているが、本来、区長や教育委員会が当事者となって守るべき」とただした▼越中島では、大手物流企業が高さ43㍍のトラックターミナルを計画。近隣住民は永く騒音に悩まされ続け、今また汚染土壌処理の異臭で頭痛や吐き気を訴えている▼建設地周辺には、幼稚園、小・中学校、高校、大学と教育施設が集中。住民は歩道が狭くて危険なので、拡幅に協力してほしいと事業者に懇願するも聞く耳を持たない。羽田空港近くのヤマト物流施設が行政と協議して体育館や託児所、広場の提供など地域貢献施設を設置したのとは雲泥の差だ▼まちづくりは、住民合意を大原則に、周辺環境に十分配慮する等のルールづくりが求められている